

ハンガリー交通規則

ブクワ・ユスティナ

運転する際、必ず携行するもの

1. Jogosítvány 免許証、
2. Forgalmi engedély 車両登録証、
3. Kötelező biztosítás 強制保険証書(国内用)、
4. Zöld kártya 強制保険証書(外国用)、
5. Baleset bejelentő nyomtatvány 事故報告書、
6. Elakadást jelző háromszög 三角表示板、
7. Elsősegélydoboz 救急箱、
8. Fényvisszaverő mellény 反射ベスト

Biztonsági öv használata シートベルトの着用義務

日本と同じくハンガリーでも、全ての座席でシートベルトの着用義務がある。

A megállás 停止

5分以内の荷物の積み下ろしと5分以内の人の乗り降りのための停止を「megállás」と言う。5分以上連続して車が停止している状態は「várakozás」となる。車を停止させるときは道路の進行方向右側に、道路と平行に止まらなければならない。止まる際は必ず（右）ウィンカーを出し、背後を確認することも忘れない。標識が停止の仕方を指定する場合もある。例えば一方通行の道路では、車を止めた後で道路に5,5メートルの幅が確保できるのであれば、左側に止まっても良い。歩道に停止するときは駐車許可の道路標示か標識があるか確かめる。駐車できるのは歩道の半分までであり、歩道者のために歩道に1,5メートルの幅を空けなければならない。軸重が1000キログラム以下の車両のみ歩道に駐車できる。車道から見て歩道の縁石の高さは10-15センチメートルある。縁石に乗り上げる際はゆっくり、気をつけながら乗り上げる。

Vasúti átjáró 踏み切り

踏み切りに近づく際、渡る際は標識を確認しながら安全を確認する義務がある。踏み切りでの運転の際は止まらず、最低時速5キロメートルで前進する。ただし「„Állj! Elsőbbségadás kötelező (止まれ列車優先) 」の標識がある場合は踏み切りの前で停止しなければならない。

踏み切りの前で止まらなければ行けない時は、以下の場合である。

- a) どちらかの方向から電車が近づいてくる場合、
- b) 踏切遮断機の遮断桿が完全に上がっていないが、まだ動いている場合



- c) 遮断機に付いている信号発光機が光っている場合、または警報灯が赤い光を出している場合
- d) 踏切遮断機のスピーカーによる警告音が鳴っている場合
- e) 警報機が白い光を点滅させていない場合、
- f) 交通巡視員が止まれの指示をした場合、
- g) その他、止まらず進行することが不可能な場合、
- h) **Állj! Elsőbbsegadáskötelező** の標識がある場合

警報機のない踏切では電車が来ないことを両方向確かめた上で渡る。

警報機のある踏み切りでは、渡ってもいいのは以下の場合のみである。

- a) 遮断機の遮断桿が両方上がっており、発光機、スピーカーによる警告が無い場合、
- b) 警報機が白い光を点滅させている場合
- c) 交通巡視員が止まれの指示をしていない場合、
- d) 止まることなく前に進むことができる場合。

踏み切りの警報機が故障している場合は、踏み切り前で一時停止した上で、下記の条件も備わっていれば、渡ることができます。

- a) 一時停止した場所から電車が来ないか両方向を確認できるよう踏み切りが設計されており、運転手が周囲の安全をしっかりと確認できた場合、

- b) 交通巡視員が交通整理を行っており、止まれの指示をしていない場合。

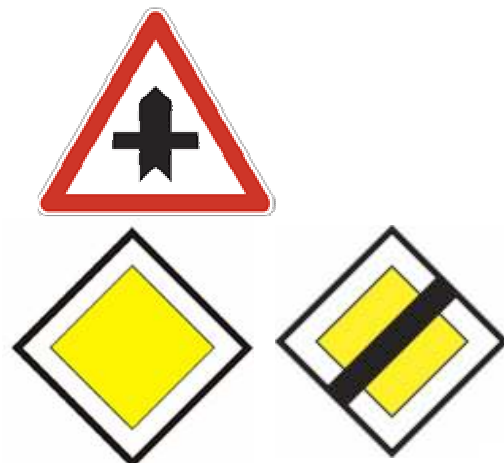
踏切横断中に車両が止まってしまって、運転者がどのような手段をとっても前に進むことが出来ない場合は、近づいてくる電車の運転士、または他の鉄道職員に、この情報をより早く伝える。

Előzés 追い越し

1. 追い越しを行いたい場合は、走行方向を変える際にウィンカーを出す。
 2. 下記の 3. と 4. 以外は左側からの追い越しを行う。
 3. 以下の場合は右からの追い越しを行う。
 - a) ウィンカーを出し左へ曲がる合図をしている車両を追い抜く場合
 - b) 車道の真ん中（あるいは一方向道路の左側）を走行するトラムを追い抜く場合。
 4. 警告灯(黄色い光)を点滅させている車両を追い越す場合は、周囲の安全を確認した後、右からの追い越しが可能です。
 5. 速度を上げたり、左側に寄ったりして、追い越しを行う側の進行妨害をしてはいけません。
 6. 以下の場合、追い越し禁止となる。
 - a) 横断歩道と横断歩道の手前
 - b) 車道より乗降客が乗り降りするトラムの停留所の前
 - c) 周囲の安全が確認できないカーブ
 - d) 踏み切りとその手前
 - e) 交差点とその手前
- d)、e)の追い越し禁止はバイク、自転車、モペットを車で追い越す場合には適用されない

Az elsőbbség 道路の優先

非優先道路と交わる交差点を示す標識



Főútvonal 優先道路

左は優先道路を示す標識である。右は優先道路が終了することを示す標識である。

Járművek kivilágítása 点灯の義務

夜の運転時と視界不良の中ではライト点灯が義務付けられている。ハイビームを点けてもいいのは郊外のみである。以下の場合、ハイビームを点けてはならない。

- a) 対向車の目をくらませてしまう距離にあるとき
- b) バックミラーに反射して、前を走る車の運転者の目をくらませてしまう距離にあるとき。

ハイビームとロービームの代わりに、またはそれらと一緒にフォグライトやリアフォグランプ点けるのは、視界不良で必要な時だけにする。他の運転者の目をくらませないのであれば、必要な場合（注意を与えるため）パッシングしてもよい。バイクとモペットは、昼間や視界がよい間でも、ロービームの点灯が義務付けられている。

車両は昼間や視界がよい場合であっても、郊外でのライト点灯が義務付けられている。デイライトがロービームを点けて下さい。高速道路も郊外にあるとされているので、昼間の場合でもライト点灯の義務がある。市街地でもライト点灯することは許可されており違法にはならない。逆に、デイライトを備えた車は、日中夜間用ライトを点灯する必要はない。

Közlekedési lámpa 信号

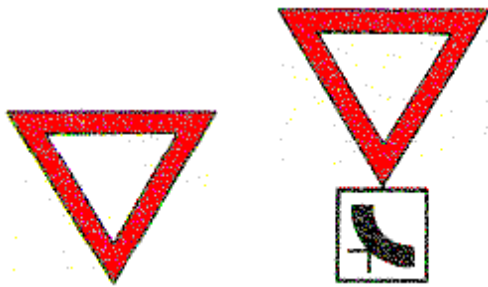


ハンガリーでは交差点で信号が赤から青に変わるとき、青になる前に黄色が点灯する。黄色は赤と同じく一時停止を意味するが、出発準備の意味もある。

青から黄色になったとき、安全に止まることが出来ない場合は出来るだけ早く信号を通る。



1. 優先



交差道路が優先道路であることを示す標識

左の図は交差道路が優先道路であり、優先権を与えることを示している。もし標識の下に交差点の図が示されている場合、太い線で表された道が優先道路となる。

横断歩道がない交差点の場合でも、角を曲がる場合には道を渡っている歩行者が優先となります。これは優先道路上で曲がる時も、優先道路から非優先道路に曲がる時も含まれる。



ただし、救急車など緊急車両の場合には、歩行者は優先されない。

歩行者に優先権がない道路の場合、車を止めなくても渡れる場合を除いて道路に入ってはいけない。歩道のない住宅・休憩ゾーンでは歩行者は道路の幅全体を利用できる。このような道路では車両を不必要に邪魔しなければ自由に話をしたり、遊んだりできる。

ラウンドアバウト（円形交差点）では円の中を走っている車が優先である。（進入する際には方向指示器を出す必要はない。出るときには右折の指示を出す。）

2. 制限速度（自動車の場合）

高速道路	130	k m/h
自動車優先道路	110	k m/h
一般道（校外）	90	k m/h
一般道（市街地）	50	k m/h

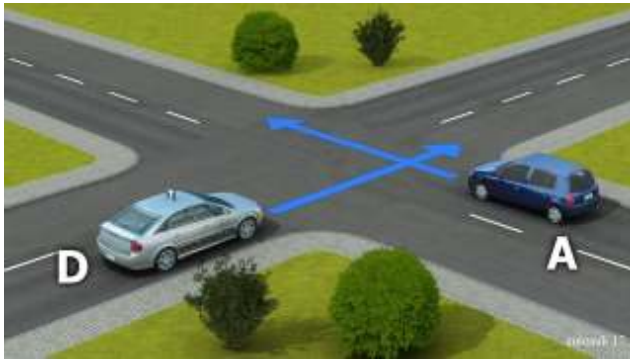


3. 路面電車（トラム）

トラムの線路を横切る場合にはトラムに優先権がある。レールの前では必ず止まり、トラムがこないこと、そして安全に通過できることをきちんと確認してから渡る。

4. 右手ルール

信号も標識もない交差点では右から来る車を優先させる。下の図の場合、Dは右から来るAが通ってから進む。



下の図の場合、Cは右にあるDを優先し、Dは（Dの）右側にあるAを優先する。したがって。A→D→Cの順番で進む。

